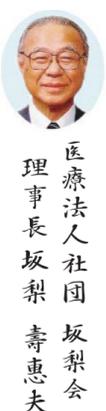




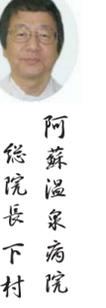
「医療と介護をより密に」



医療法人社団 坂梨会
理事長 坂梨 寿恵夫

明けましておめでとうございます。 「坂梨内科医院」として開業し、阿蘇温泉病院、介護老人保健施設 愛・ライフ内牧、ケアハウス茶寿苑などの併設を経て、早いもので38年目を迎えることとなりました。これも一重に皆様方の「支え」のおかげだと心よりお礼申し上げます。 さて、昨年は新しい先生を迎え、下村総院長を中心に外来診療の充実をより一層図ることができました。 そして本年は、現在の医療・介護の更なる充実を目標に取り組みしていきたいと考えております。そのためにもまず、スタッフの質の向上に励みます。接遇の基本は「あいさつ」から。いつ来ても職員が気持ちよくあたたかさと笑顔で皆様を迎えることができる病院を目指します。 次に、現在坂梨会では、居宅介護・訪問リハビリ・デイケアなど様々な在宅サービスをご提供しておりますが、本年はそれらの在宅サービスに重点を置き、医療と介護が連携を密にし、地域の皆さまが安心して在宅生活を送れるよう充実させていきたいと考えております。 4月には医療・介護の同時改定があり、地域の皆さま、医療・福祉業界にも、厳しい状況が予想されますが、基本理念「よりよき人間性」・「よりよき環境」・「よりよき医療」を胸にスタッフ一丸となり取り組んで参ります。本年もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

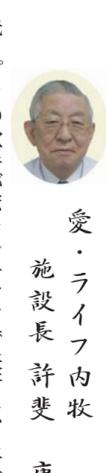
年頭の御挨拶



阿蘇温泉病院
総院長 下村 貴文

明けましておめでとうございます。 日頃から阿蘇温泉病院に多大なご厚情を賜りありがとうございます。昨年は3月11日の東日本大震災をはじめ全国的・世界的に自然災害の多い年でした。昨年冬期は降雪量が多かったものの、幸い阿蘇地方では近年自然災害は起こっていません。しかし「備えあれば憂いなし」の格言がありますように、当院では災害時対応の見直し作業を進めております。診療面では1月に整形外科の田崎先生、4月には内科の戸上先生が常勤医として赴任され、夏からは土曜日だけで診療も増えました(担当 松本知明先生)。今後も、阿蘇地域に必要とされる診療科の充実を努めてまいります。 また、阿蘇医療圏の中だけでなく熊本市内の基幹病院とのさらなる連携に努め、患者様に満足していただける医療を提供していく所存です。さらに、職員の教育と接遇改善にも努め、よりレベルの高い医療、より満足いく接遇を心がけてまいります。 当院に対する要望・苦情などありましたら、ご遠慮なくご指摘下さい。可能な限り対応させていただきます。 最後に、皆様方にとってよりよき1年になりますよう祈願して新年のご挨拶とさせていただきます。

最近泣かされたお話二つ



愛・ライフ内牧
施設長 許斐 康熙

先日プロの歌手がボランティアで来所し、上島達子さんの司会とデュエットで盛り上がりました。最後に「4階の歌姫」と紹介されてマイクがNさんのところに降りてきました。Nさんはいつも4階の談話室でテレビを見ています。てっきり画面を見ているものと思っただけです。彼女は胸腰椎多発圧迫骨折や変形性膝関節症などで起立・歩行が不能な上、網膜色素変性症によって失明に近い状態です。その彼女が歌いだしたのが「私の大事な旦那さま」です。家に残されたご主人を慕って切々と歌われる姿に、カメラを向ける目が思わずうるんでしまいました。 二人暮らしの高齢のご夫婦が入って来られました。二人とも高度の認知症がありますが、とくにご主人は入所その日は傾眠状態で食事も摂られないのでベットの廊下に出しての見守りとなりました。すると奥さんが心配して部屋を出てご主人の傍に一晚中付き添っておられたそうです。このような光景はご夫婦で入られた場合よく見られます。このような光景はご夫婦で入られた場合よく見られます。夫婦の愛情というか、長年連れ添ってると認知症を超えた絆ともいえるものがさせるのでしょうか。このご主人は翌日の頭部CTで慢性硬膜下血腫が見つかり、日赤で手術を受けて元気に帰って来られました。熊本市内に居られる息子さんは「そう云えば6月頃抱えようとして落としたことがあった」と云っておられました。 私も喜寿を迎えるこんな些細なことでも涙腺が緩むものです。

「家族」 ケアハウス茶寿苑 施設長 坂梨ゆかり



あけましておめでとうございます。 茶寿苑は阿蘇温泉病院や皆様のおかげで無事新年を迎えることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。 「私は茶寿苑の家族になって嬉しい」と話された入居者の方がいらつしやいました。その時「家族」ついでいい響きだなと思っています。50名もの皆様と毎日生活を送っていますというわけにはいきませんが、時には波風が立つこともありましても、「家族」だと思つて信頼し合い、話し合えば自然と解決の道へ導かれて行くのかも知れません。入居者の皆様と毎日笑顔で挨拶を交わし、他愛もない会話をしながら知らず知らず色々なことを教えていただいたりしています。ありがとうございます。 また、入居者も職員もお互いに気を遣つていくことも大切なことだと思います。入居者の権利と義務、職員の努め(サービスの質の向上)が程良く調和していくことが茶寿苑でのホスピタリティーの向上に繋がるのではないかと思います。 新年を迎え、心新たに「茶寿苑に来てよかった」と言っていたただけるようベストを尽くしてまいります。 今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「そとがき」とは外輪山を意味する古語です。

坂梨会ホームページアドレス <http://www.asospahp.jp/>



ご注意ください

阿蘇温泉病院と緩和ケア病棟・透析センター 桃花水の間の道路が凍結により滑りやすくなっています。 ご利用の際には十分ご注意ください。

1月の診療予定

歯科	14日(土) 21日(土) 31日(火)	休診
内科	12日(木)午後	中川先生休診



大壺のご寄贈



ご夫妻と共に (今回はご希望により匿名とさせていただきます。)

先日、阿蘇市にお住まいのあるご夫妻が坂梨会グループに大変立派な有田焼の大壺を寄贈してくださいました。 この大壺はご夫妻が何十年と大切にされてきたものです。蓋の部分には金の獅子が鎮座しており、側面にはそれぞれ龍と虎が描いてあります。 今年はこちら辰年。龍を正面に茶寿苑のホールに飾らせていただきました。 本当にありがとうございました。



研修参加報告

第44回九州人工透析研究会総会に参加して



院内で研修参加報告をする藤山さん(左)と共同演者の大坂さん(右)。この発表は看護協会の研修会でも注目を集めていた。

演題:「心とからだの健康サポート・リンパマッサージを導入して」
報告者:透析センター 藤山 マユミ、大坂 啓子
平成23年11月27日に佐賀文化会館にて上記総会が行われ、参加してきましたのでご報告します。 透析患者さんは、治療に伴うストレスや活動量低下による筋力低下があり、リンパ液は停滞しやすく、それが足の不快症状の一因と思われます。そこで、リンパ液の流れをサポートし、不快症状や苦痛の軽減を図る目的で下肢リンパマッサージを導入しました。 透析中にリンパマッサージを提供することで、患者さんの足の不快症状の軽減とリラクゼーション効果がみられ「気持ち良かった。ありがとう!」の言葉を頂きとても嬉しく思いました。 学会の後、九州内の透析施設でリンパケアセラピストの資格を取得された報告も聞かれました。 これからも患者さんの喜ばれる看護、ケアを提供し当院の透析センターの特色の一つとして頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

編集後記
明けましておめでとうございます。本年も親しみをもっていただける広報誌作りに取り組みさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。(広報課)

この部署 この人
阿蘇温泉病院
愛・ライフ内牧
医療福祉相談室
市原 俊輔・大熊 翠
藤本 大二・小田 智子
今月は医療福祉相談室の皆さんです。相談室では、入院・入所、転院・転入の窓口業務はもちろん、治療や生活状況に関する心配事への助言や、その時々に応じた社会保障制度のご紹介、施設・サービスの提示も行っています。また、在宅生活(社会復帰)を支える取り組みにも力を入れていて、患者様やご家族と関係機関との間に入り、その人らしく過ごせるように道筋を作っていくことも大切な仕事です。 仕事で心がけていることを聞いたところ、人と人の調整が主になるため、「傾聴する姿勢」を大切にしているそうです。また、言い回しによって誤解を招いたりすることがないよう細心の注意を払っているとのことでした。 相談員の皆さんは、心配事や相談事に対処する中で、患者さんが安心して生活できるようになった時や、感謝された時にやりがいを感じるそうです。 今後の抱負として、「阿蘇温泉病院の『医療福祉相談室』を阿蘇地域にもっと定着できるように相談員個々がレベルを向上し、阿蘇全体における地域医療連携の一角を担いたいと思っています。」と力強く語っていただきました。

